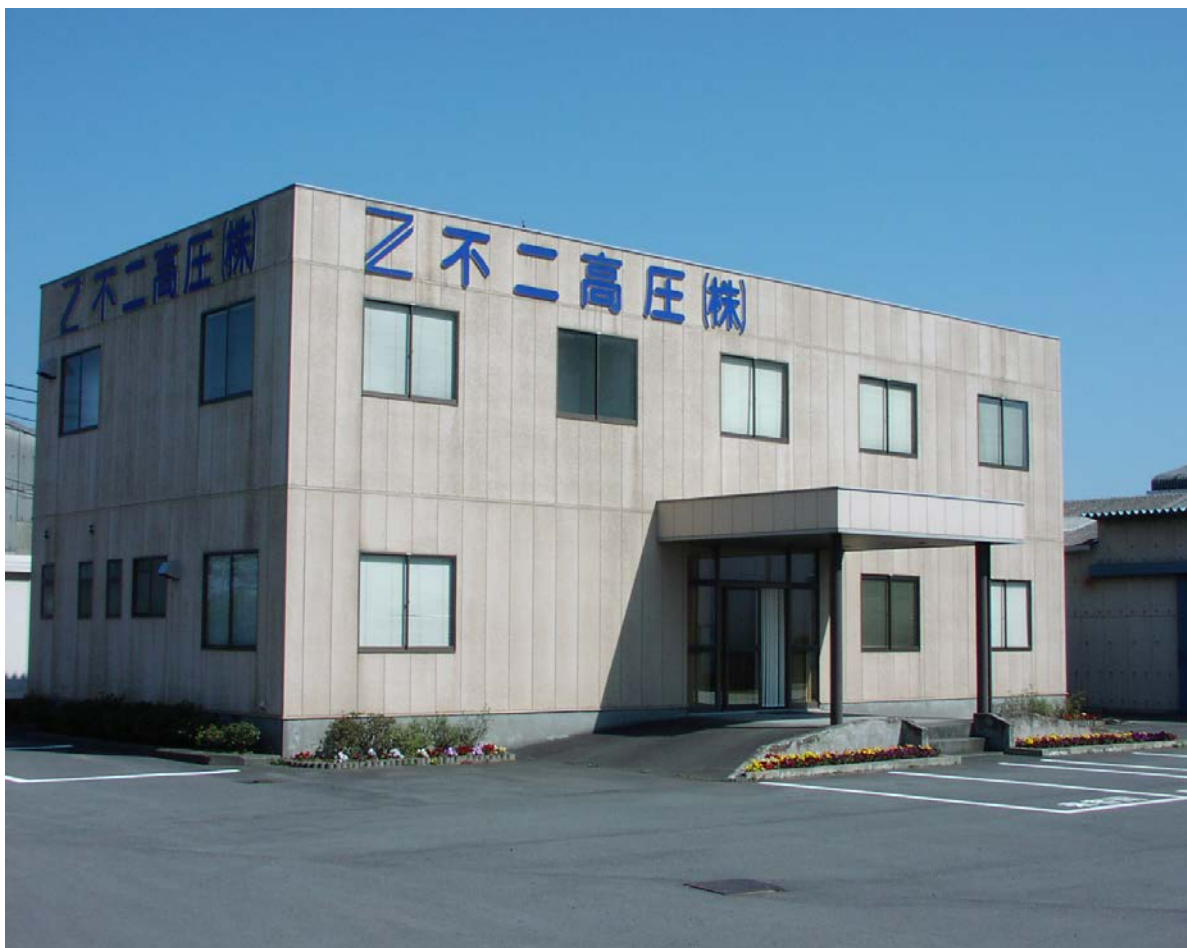


エコアクション21

環境活動レポート



平成25年10月15日

・ ・ 環境問題を皆で理解し広めよう ・ ・

不二高圧株式会社

エコアクション21 に 取り組んで

エコアクション21の勉強を始めたのが、2006年(平成18年)でした。右も左も分からぬまま、2006年度を基準年とし、2007年度に登録申請・認証を得る事が出来ました。(当時、2004年度まで遡ってデータを集めました。)実際の取り組みは、2007年度からになります。結果的にはほとんどの項目が、容器検査工場の稼働状況に比例し、残念ながら明らかな削減はみられませんでした。

しかし 2009年に工場の塗装設備の変更により、有機溶剤の削減や、事務所を中心とした上水の削減、2012年には事務所蛍光灯のLED化など、大きな成果を得ることもできました。

今回、エコアクション21の取り組み開始後 2期6年目を終えるに当たり、①電力 ②ガソリン等の化石燃料 ③水 ⑤特定化学物質の 4項目を選んでグラフにしてみました。

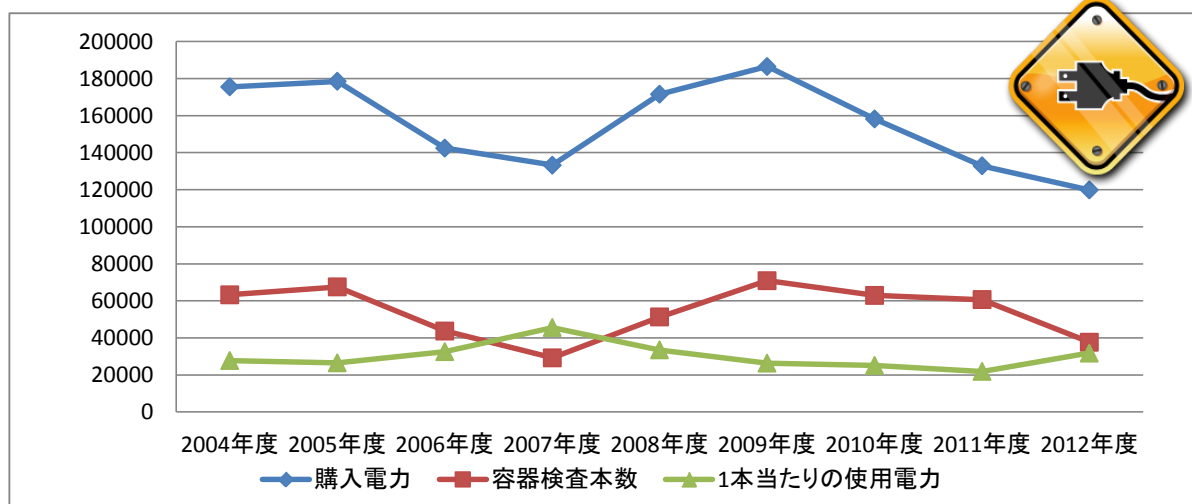
* 19年度登録時は3ヶ月分のデータで申請、その後1年分で中間審査を受けた為19年度のレポートは2冊あります。

			第1期			第2期		
平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
取り組み前		研修・*登録・中間	更新	中間	更新	中間	更新	

① 電力消費量

購入電力	高圧電力	KWh						
2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
175,528	178,441	142,426	133,278	171,507	186,493	158,180	132,893	119,820

容器検査	本							
2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
63,300	67,458	43,723	29,229	51,259	70,856	62,935	60,622	37,688
容器検査	1本当たりの使用電力		* グラフ表示用に 単位を変えてあります。					
27730	26452	32575	45598	33459	26320	25134	21922	31793

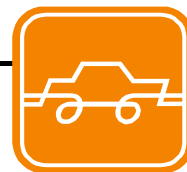


購入電力のかなりの部分を 容器検査工場で使用していますので、検査本数に比例して使用電力も増減していますが、検査本数が多いときの方が、効率的に使用されていることもわかりました。今後は検査本数に合わせて、工場の稼働時間を工夫するなど、電力の削減に努めます。

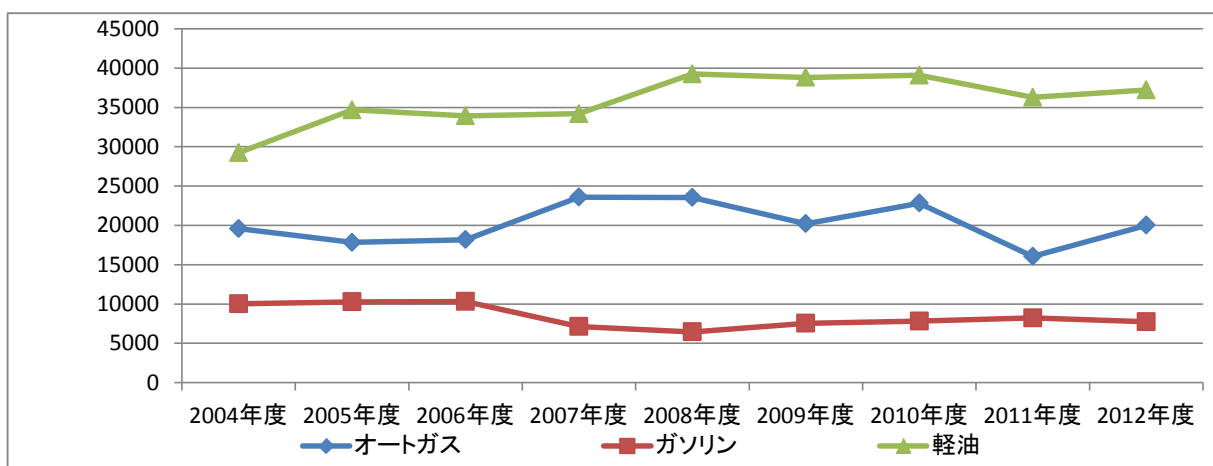
エコアクションに取り組む前(2003年)に容器検査の過程で発生する残ガスを利用した、LPG発電機2台を導入、当時、購入電力が 約20%削減されました。今後もLPG発電機の更新・増設を検討し、購入電力の削減に努めます。

エコアクション21 に 取り組んで

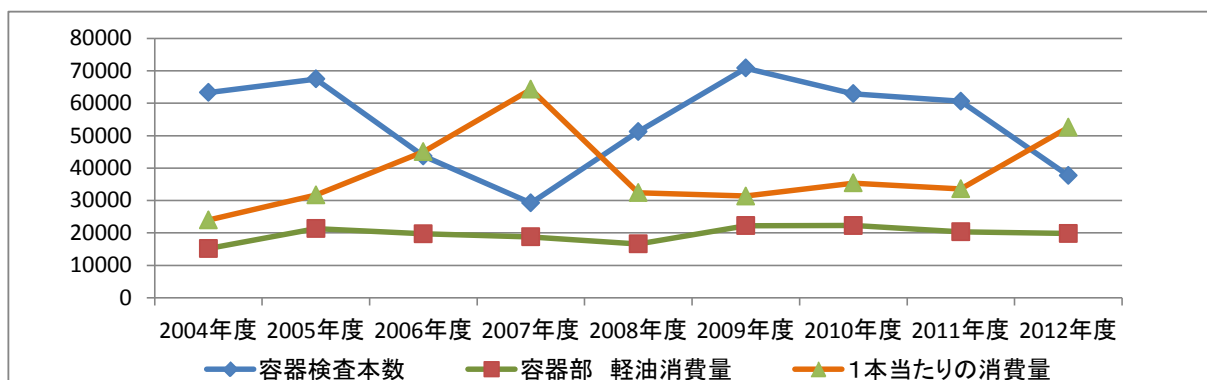
② 化石燃料 使用量



化石燃料	オートガス	0.1Kg	* グラフ表示用に 単位を変えてあります。					
	ガソリン	ℓ						
	軽油	ℓ	(欄外 容器検査部 軽油)					
2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
19,588	17,824	18,184	23,568	23,551	20,218	22,813	16,054	20,017
10,004	10,277	10,329	7,143	6,462	7,552	7,811	8,216	7,725
29,224	34,679	33,909	34,193	39,241	38,806	39,088	36,278	37,228
15,188	21,349	19,694	18,793	16,617	22,218	22,269	20,355	19,816



容器検査	本							
2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
63,300	67,458	43,723	29,229	51,259	70,856	62,935	60,622	37,688
容器検査 1本当たりの使用軽油			* グラフ表示用に 単位を変えてあります。					
23,993	31,648	45,043	64,295	32,418	31,356	35,384	33,577	52,579



燃料使用量は毎年ほぼ一定ですが、検査本数が多いときの方が、やはり効率的に使用されていることもわかりました。今後は検査本数に合わせて、配送回数・使用車両数を工夫するなど、燃料の削減に努めます。

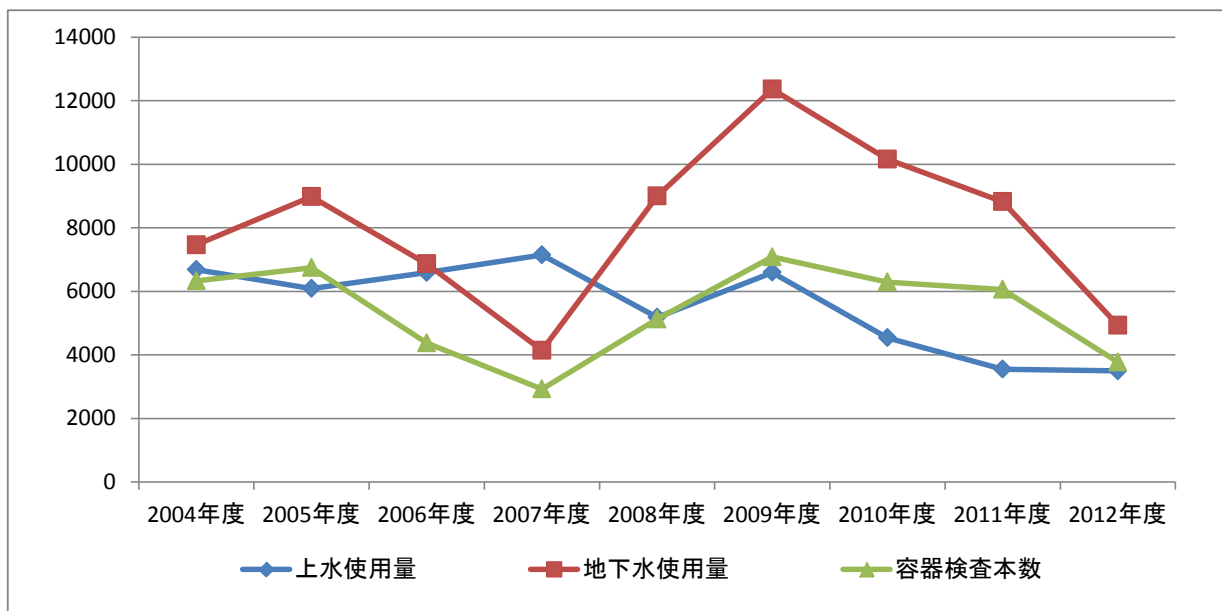
エコアクション21 に 取り組んで

③ 水資源 使用量



水資源 投入量	上水	0.1m ³	* グラフ表示用に 単位を変えてあります。					
	地下水	m ³						
2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
6,680	6,085	6,590	7,150	5,180	6,595	4,540	3,550	3,495
7,464	8,980	6,866	4,145	8,999	12,364	10,159	8,820	4,926

容器検査	10本		* グラフ表示用に 単位を変えてあります。					
2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
6,330	6,746	4,372	2,923	5,126	7,086	6,294	6,062	3,769

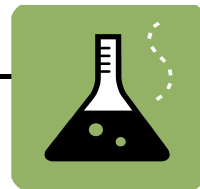


地下水のかなりの部分を 容器検査工場で使用していますので、検査本数に比例して使用量も増減しています。2011年に耐圧設備を更新し、効率化により、地下水使用量は減少する傾向です。

上水は確実に減少しています。2009年には、記録を取ることで漏水に気が付き、修理することで削減ができました。2010年度には、事務所・休憩室のトイレを節水型に変更しかなりの効果がありました。取り組み開始時の2006年度と2012年度を比べると、約47%の削減となっています。

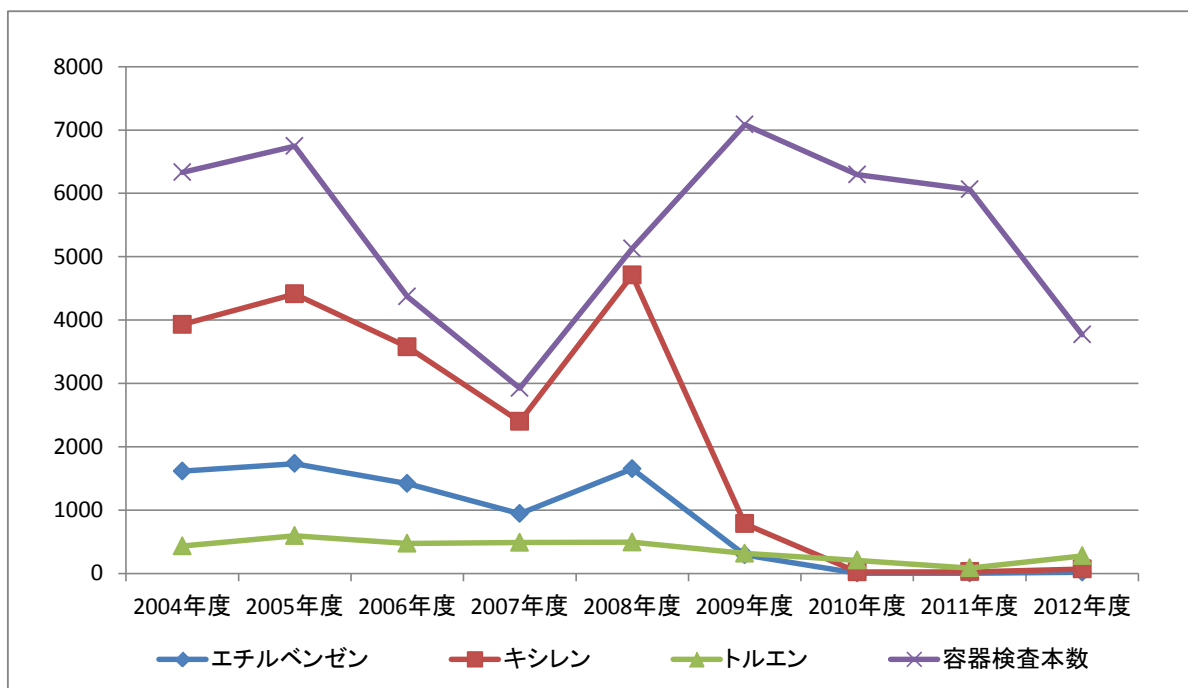
エコアクション21 に 取り組んで

⑤ 特定化学物質等の使用量



指定 化学物質	エチルベンゼン	ℓ						
	キシレン	ℓ						
	トルエン	ℓ						
2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
1,614.0	1,733.0	1,417.0	944.0	1,652.0	293.7	4.6	4.0	16.7
3,929.0	4,412.0	3,574.0	2,399.0	4,709.0	783.9	22.2	26.2	68.4
432.3	594.3	475.1	489.6	492.0	315.0	208.0	87.0	279.0

容器検査	10本	* グラフ表示用に 単位を変えてあります。						
2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
6,330.0	6,745.8	4,372.3	2,922.9	5,125.9	7,085.6	6,293.5	6,062.2	3,768.8



2009年に 容器の塗装を 有機溶剤から粉体塗装に変えたことにより、化学物質の使用を劇的に減らすことができました。2013年エチルベンゼンが特定物質に指定されました。今後はエチルベンゼンを中心とした化学物質の削減と、適正管理に努めます。

環境活動レポート

平成24年度（2012/7-2013/6）

特集 エコアクション21 に取り組んで

目 次

環境方針	1
事業の概要・実施体制	2
環境経営システムの組織図	4
中長期環境目標	5
短期環境目標と実績・評価	9
環境活動の取組計画	14
具体的な環境活動計画	15
環境活動の取組結果の評価	18
次期 環境活動の取組計画	22
環境関連法規に係る遵守及び違反、訴訟等の状況	27
代表者による評価と見直し	28

【環境方針】

「基本理念」

不二高圧株式会社は、高圧ガスの容器及び施設の検査、並びに高圧ガス設備工事の事業を通して公共の保安の確保を目的に、地域社会にクリーンでかつ安心と安全を届け、地球にやさしく、快適な生活環境の構築に貢献する。

「活動方針」

1. 廃棄物削減の為、分別・リユース（再利用）、リデュース（減量）、リサイクル（再資源化）の徹底に努める。
2. 資源エネルギーの有効利用の為、電力や車輛燃料・冷暖房の省エネルギー化に努め、CO₂ 排出量を削減する。
3. 水資源を守るため、総排水量の削減に努めるとともに、環境を守るために排水水質の管理を行う。
4. 化学物質の適正管理に努め、使用量を可能な限り削減するだけに留まらず、より人体や環境に優しい化学物質等への変更を検討する。
5. 資材・事務用品等の必要物品は「グリーン購入法」に基づき、環境配慮品の購入に努める。
6. 関連する環境関連法を厳守し、地域の環境保全活動に積極的に参加し、自ら構内、周辺の環境保全に努める。

本方針を全社員に教育し周知徹底するとともに、環境活動レポートを公表する。

制定年月日	平成19年	7月25日
改訂年月日	平成21年	8月1日
改訂年月日	平成22年	10月1日
改訂年月日	平成23年	12月1日
改訂年月日	平成25年	10月15日

不二高圧株式会社

代表取締役社長

新井 二郎

【事業の概要・実施体制】

1. 事業所名及び代表者名

社 名 不二高压株式会社
代表者 代表取締役 社長 新井 二郎

2. 対象範囲（ 本社 ）

〒421-0218 静岡県焼津市下江留437番地の16
TEL・054-622-1120(代) FAX・054-622-3487

3. 環境管理の責任者及び担当者氏名、連絡先

環境管理責任者 村越 睦明
受付・事務担当者 石田 文子
連 絡 先 TEL・054-622-1120(代) FAX・054-622-3487
<http://www.zz-fujikoatsu.co.jp/>
[E-mail・zz-jj@po4.across.or.jp](mailto:zz-jj@po4.across.or.jp)

4. 事業の内容

「容器検査部」 高压ガス容器の再検査
「工事部」 高压ガス設備の点検・検査及び設計・施工(客先現場に出張業務となる)
高压ガス設備の法定検査、(貯槽、配管、機械精密検査)定期点検の施行。
事業所の保安検査、設備の修理、管工事業、機械設置工事業の施行。
液化石油ガス・タンクローリ用容器の法定再検査の施行。
「事務所」 総務 経理 事務処理、書類作成

5. 事業の規模

法人設立 昭和45年 7月23日(創立 昭和40年1月)
資本金 1,000万円
決算期 期首 7月1日 期末6月30日
従業員 36人
敷地面積 14,321㎡
床面積 容器検査工場900.49㎡・タンクローリ検査工場440.15㎡・
倉庫153㎡・事務所335.24㎡・休憩室105㎡・

6. 活 動 規 模

① 売 上 期首 7月1日 期末 6月30日

単位 百万円

項 目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
総 売 上 高	606	583	579	661
容器検査部	283	193	186	147
工 事 部	323	390	393	514

② 設備等の状況

「容器検査部」 定置検査設備一式(残ガス回収、耐圧検査、塗装他)小型容器280本/日
車 両(台) 7t車1・4t車2・3t車1・営業車1・フォークリフト1

「工事部」 移動検査機器一式 (非破壊検査機器他KHK基準検査設備)3セット
設計施工関係 (キャド等OAソフト機器、資材加工機器)1式
車 両(台) 検査専用貨物車4・営業車3(ガソリン車)

「事務所」 パソコン 18台 プリンター 8台 コピー機 4台
車 両(台) 営業車2(LPG車)

7. 資 格(許認可・登録)

「容器検査部」 容器検査所の登録 : 静岡県 平・23・10・1 防消防第44号の5
(50,000ℓ以下の液石及び液化天然ガス溶接容器で、TP5Mpa以下)
高圧ガス製造許可: 静岡県 昭・56・1・16 消第88-10号

「工事部」 液化石油ガスプラント検査事業者認定(高圧ガス保安協会KP-18)
液化石油ガスタンクローリ検査事業者認定(高圧ガス保安協会KT-3)
指定保安検査機関の指定:(経済産業省)平成23.01.17原第3号)
指定保安検査機関の業務規程認可(経済産業省)平成23.01.17原第4号)
建設業の許可(管、機械設置工事)静岡県般-22第9549号平22年11月

「環境関係」 エコアクション21 認証・登録番号 0002362 認証登録日 平成20年4月7日
産業廃棄物収集運搬業許可 第143883号(静岡県 平成25年8月22日)
24年度 実績なし

実施体制



【中・長期環境目標】

総 合

(容器検査部・工事部・事務所)

平成22年度～平成24年度 (2010/7-2013/6)

① 二酸化炭素排出量 (目標設定は平成21年度実績を基準＝100%とする)

項 目		平成21年度 実績	平成22年度 目標	平成23年度 目標	平成24年度 目標
二酸化炭素排出量		556,380.4	528,561.4	500,742.4	472,923.3
kg-CO ₂ %		100.0	95.0	90.0	85.0
購入電力 0.378(kg-CO ₂ /kWh)	消費量 kWh	188,262.0	178,848.9	169,435.8	160,022.7
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量	71,163.0	67,604.9	64,046.8	60,488.6
		%	95.0	90.0	85.0
液化石油ガス LPG車両用	消費量 kg	2,021.8	1,920.7	1,819.6	1,718.5
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量	6,069.3	5,765.8	5,462.4	5,158.9
		%	95.0	90.0	85.0
ガソリン	消費量 L	7,551.9	7,174.3	6,796.7	6,419.1
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量	17,532.9	16,656.3	15,779.6	14,903.0
		%	95.0	90.0	85.0
軽油	消費量 L	38,805.6	36,865.3	34,925.0	32,984.7
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量	101,839.1	96,747.1	91,655.1	86,563.2
		%	95.0	90.0	85.0
残ガス燃焼	燃焼量 kg	78,080.0	74,176.0	70,272.0	66,368.0
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量	234,393.0	222,673.4	210,953.7	199,234.1
		%	95.0	90.0	85.0

② 廃棄物排出量 (目標設定は平成21年度実績を基準＝100%とする)

項 目		平成21年度 実績	平成22年度 目標	平成23年度 目標	平成24年度 目標
単純焼却 廃棄物	t	9.61	4.22	3.99	3.78
	%	100.0	43.9	41.5	39.3
最終処分 廃棄物	t	29.63	10.68	9.93	9.18
	%	100.0	36.1	33.5	30.9

③ 総水使用量 (目標設定は平成21年度実績を基準＝100%とする)

項 目		平成21年度 実績	平成22年度 目標	平成23年度 目標	平成24年度 目標
上水使用量	m ³	659.6	610.1	577.1	544.1
	%	100.0	92.5	87.5	82.5
地下水使用量	m ³	12,364.0	11,127.6	10,509.4	9,891.2
	%	100.0	90.0	85.0	80.0

* 化学物質・・・数値目標は設けず、常に適正に管理することとする。

* グリーン購入法・・・数値目標は設けず、常にグリーン商品の購入に心がけることとする。

【中・長期環境目標】

容器検査部

平成22年度～平成24年度（2010/7-2013/6）

① 二酸化炭素排出量（目標設定は平成21年度実績を基準＝100%とする）

項 目		平成21年度 実績	平成22年度 目標	平成23年度 目標	平成24年度 目標
二酸化炭素排出量 kg-CO ₂ %		445,592.0 100.0	423,312.4 95.0	401,032.8 90.0	378,753.2 85.0
購入電力 0.378(kg-CO ₂ /kWh)	消費量 kWh	186,493.0	177,168.4	167,843.7	158,519.1
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量 %	70,494.4 100.0	66,969.7 95.0	63,445.0 90.0	59,920.2 85.0
ガソリン	消費量 L	2,096.3	1,991.5	1,886.7	1,781.9
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量 %	4,866.9 100.0	4,623.6 95.0	4,380.2 90.0	4,136.9 85.0
軽油	消費量 L	22,218.0	21,107.1	19,996.2	18,885.3
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量 %	58,307.5 100.0	55,392.1 95.0	52,476.7 90.0	49,561.3 85.0
残ガス燃焼	燃焼量 kg	78,080.0	74,176.0	70,272.0	66,368.0
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量 %	234,393.0 100.0	222,673.4 95.0	210,953.7 90.0	199,234.1 85.0

② 廃棄物排出量（目標設定は平成21年度実績を基準＝100%とする）

項 目		平成21年度 実績	平成22年度 目標	平成23年度 目標	平成24年度 目標
単純焼却 廃棄物	t	6.55	1.31	1.24	1.18
	%	100.0	20.0	19.0	18.0
最終処分 廃棄物	t	29.11	10.19	9.46	8.73
	%	100.0	35.0	32.5	30.0

* 単純焼却の廃棄物は、塗料カス(産廃)有機溶剤塗装から粉体塗装に設備を変更(2009/9)したので、減少予定。

③ 総水使用量（目標設定は平成21年度実績を基準＝100%とする）

項 目		平成21年度 実績	平成22年度 目標	平成23年度 目標	平成24年度 目標
上水使用量	m ³	329.8	296.8	280.3	263.8
	%	100.0	90.0	85.0	80.0
地下水使用量	m ³	12,364.0	11,127.6	10,509.4	9,891.2
	%	100.0	90.0	85.0	80.0

* 化学物質・・・数値目標は設けず、常に適正に管理することとする。

* グリーン購入法・・・数値目標は設けず、常にグリーン商品の購入に心がけることとする。

【中・長期環境目標】

工事部(社外作業)

平成22年度～平成24年度 (2010/7-2013/6)

① 二酸化炭素排出量 (目標設定は平成21年度実績を基準＝100%とする)

項 目		平成21年度 実績	平成22年度 目標	平成23年度 目標	平成24年度 目標
二酸化炭素排出量		56,237.4	53,425.5	50,613.7	47,801.8
kg-CO ₂ %		100.0	95.0	90.0	85.0
購入電力	消費量 kWh	0.0	0.0	0.0	0.0
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量	0.0	0.0	0.0	0.0
0.378(kg-CO ₂ /kWh)		100.0	95.0	90.0	85.0
ガソリン	消費量 L	5,455.6	5,182.8	4,910.0	4,637.3
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量	12,666.0	12,032.7	11,399.4	10,766.1
		100.0	95.0	90.0	85.0
軽油	消費量 L	16,587.6	15,758.2	14,928.8	14,099.5
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量	43,531.6	41,355.0	39,178.4	37,001.9
		100.0	95.0	90.0	85.0

② 廃棄物排出量 (目標設定は平成21年度実績を基準＝100%とする)

項 目		平成21年度 実績	平成22年度 目標	平成23年度 目標	平成24年度 目標
単純焼却	t	2.06	1.96	1.85	1.75
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
最終処分	t	0.52	0.49	0.47	0.44
	%	100.0	95.0	90.0	85.0

- * 総水使用量・・・数値目標は設けず、常に適正に管理することとする。
- * 化学物質・・・数値目標は設けず、常に適正に管理することとする。
- * グリーン購入法・・・数値目標は設けず、常にグリーン商品の購入に心がけることとする。

【中・長期環境目標】

事務所

平成22年度～平成24年度（2010/7-2013/6）

① 二酸化炭素排出量（目標設定は平成21年度実績を基準＝100%とする）

項 目		平成21年度 実績	平成22年度 目標	平成23年度 目標	平成24年度 目標
二酸化炭素排出量		54,551.0	51,823.5	49,095.9	46,368.4
kg-CO ₂ %		100.0	95.0	90.0	85.0
購入電力	消費量 kWh	1,769.0	1,680.6	1,592.1	1,503.7
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量	668.7	635.3	601.8	568.4
0.378(kg-CO ₂ /kWh) %		100.0	95.0	90.0	85.0
液化石油ガス LPG車両用	消費量 kg	2,021.8	1,920.7	1,819.6	1,718.5
	%	100.0	95.0	90.0	85.0
	排出量	6,069.3	5,765.8	5,462.4	5,158.9
%		100.0	95.0	90.0	85.0

② 廃棄物排出量（目標設定は平成21年度実績を基準＝100%とする）

項 目		平成21年度 実績	平成22年度 目標	平成23年度 目標	平成24年度 目標
単純焼却 廃棄物	t	1.00	0.95	0.90	0.85
	%	100.0	95.0	90.0	85.0

③ 総水使用量（目標設定は平成21年度実績を基準＝100%とする）

項 目		平成21年度 実績	平成22年度 目標	平成23年度 目標	平成24年度 目標
上水使用量	m ³	329.8	313.3	296.8	280.3
	%	100.0	95.0	90.0	85.0

* グリーン購入法・・・数値目標は設けず、常にグリーン商品の購入に心がけることとする。

【短期環境目標と実績・評価】

平成24年度

総合

(容器検査部・工事部・事務所)

① 二酸化炭素排出量 (目標設定は平成21年実績を基準＝100%とする)

項 目		平成21年度 実績	平成24年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
二酸化炭素排出量		556,380.4	472,923.3	508,319.5	×
kg-CO ₂ %		100.0	85.0	91.4	
購入電力	消費量 kWh	188,262.0	160,022.7	119,820.0	×
	%	100.0	85.0	63.6	
	排出量	71,163.1	60,488.6	62,066.8	
0.518(kg-CO ₂ /kWh)		100.0	85.0	87.2	
液化石油ガス LPG車両用	消費量 kg	2,021.8	1,718.5	2,001.7	×
	%	100.0	85.0	99.0	
	排出量	6,069.3	5,158.9	6,009.1	
		100.0	85.0	99.0	
ガソリン	消費量 L	7,551.9	6,419.1	7,725.3	×
	%	100.0	85.0	102.3	
	排出量	17,532.9	14,903.0	17,935.4	
		100.0	85.0	102.3	
軽油	消費量 L	38,805.6	32,984.8	37,228.4	×
	%	100.0	85.0	95.9	
	排出量	101,839.1	86,563.2	97,700.0	
		100.0	85.0	95.9	
残ガス燃焼	燃焼量 kg	78,080.0	66,368.0	68,630.0	×
	%	100.0	85.0	87.9	
	排出量	234,393.0	199,234.1	206,024.5	
		100.0	85.0	87.9	

② 廃棄物排出量 (目標設定は平成21年実績を基準＝100%とする)

項 目		平成21年度 実績	平成24年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
単純焼却 廃棄物	t	9.14	3.8	1.42	○
	%	100.0	41.4	15.5	
最終処分 廃棄物	t	29.64	9.19	13.98	×
	%	100.0	31.0	47.2	

* 単純焼却の廃棄物には、工場から出る塗料カス(産廃)を含む。

③ 総水使用量 (目標設定は平成21年実績を基準＝100%とする)

項 目		平成21年度 実績	平成24年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
上水使用量	m ³	659.6	544.2	349.5	○
	%	100.0	82.5	53.0	
地下水使用量	m ³	12,364.0	10,509.4	4,926.0	○
	%	100.0	85.0	39.8	

【短期環境目標と実績・評価】

平成24年度

容器検査部-1

① 二酸化炭素排出量（目標設定は平成21年実績を基準＝100%とする）

項 目		平成21年度 実績	平成24年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
二酸化炭素排出量		445,592.0	378,753.2	450,309.3	×
kg－CO ₂ %		100.0	85.0	101.1	
購入電力	消費量 kWh	186,493.0	158,519.1	118,622.0	×
	%	100.0	85.0	63.6	
	排出量	70,494.4	59,920.2	61,446.2	×
	%	100.0	85.0	87.2	
ガソリン	消費量 L	2,096.3	1,781.9	2,553.0	×
	%	100.0	85.0	121.8	
	排出量	4,866.9	4,136.9	5,927.2	×
	%	100.0	85.0	121.8	
軽油	消費量 L	22,218.0	18,885.3	19,816.1	×
	%	100.0	85.0	89.2	
	排出量	58,307.5	49,561.4	52,004.3	×
	%	100.0	85.0	89.2	
残ガス燃焼	燃焼量 kg	78,080.0	66,368.0	68,630.0	×
	%	100.0	85.0	87.9	
	排出量	234,393.0	199,234.1	206,024.5	×
	%	100.0	85.0	87.9	

	評価	【コメント】
二酸化炭素排出量	×	21年度70152本 24年度 36686本 全体の数値を考えれば悪い状態ではないと思うが、数値目標を達成するためには、細かい点を一つ一つ見直していく必要がある。
購入電力	×	排出係数 21年 0.371 23年 0.341 24年 0.518 震災以降、電力に対する省エネの意識が高まってきているが、係数の上昇により達成できなかった。
ガソリン	×	営業活動の増加。 3月で減車したため、今後は減少する。
軽油	×	アイドリングストップの徹底や省エネ運転を今一度実施する。
残ガス燃焼	×	前年度に比べ、若干減少していることを評価する。前年度77620kg 客先にも容器内残ガスを減少していただくよう依頼する。

② 廃棄物排出量（目標設定は平成21年実績を基準＝100%とする）

項 目		平成21年度 実績	平成24年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
単純焼却 廃棄物	t	6.55	1.18	0.15	○
	%	100.0	18.0	2.3	
最終処分 廃棄物	t	29.11	8.73	13.76	×
	%	100.0	30.0	47.3	

* 単純焼却の廃棄物は、工場から出る塗料カス(産廃)

	評価	【コメント】
単純焼却 廃棄物	○	分別及びより効率の良い廃棄物の少ない原材料に変えて、数値目標を達成していく。
最終処分 廃棄物	×	今一度、廃棄物の種類を検討し、廃棄物の少ない、リサイクルできるものに変えていく。

【短期環境目標と実績・評価】

平成24年度

容器検査部-2

③ 総水使用量（目標設定は平成21年実績を基準＝100%とする）

項 目		平成21年度 実績	平成24年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
上水使用量	m ³	329.8	280.3	174.8	○
	%	100.0	80.0	53.0	
地下水使用量	m ³	12,364.0	9,891.2	4,926.0	○
	%	100.0	80.0	39.8	

	評価	【コメント】
上水使用量	○	節水及び設備更新の結果を評価。
地下水使用量	○	21年度70152本 23年度 59667本 24年度 36686本 耐圧設備を更新 水の汚れが少なくなり、使用量が減少した。

【短期環境目標と実績・評価】

平成24年度

工事部(社外作業)

① 二酸化炭素排出量（目標設定は平成21年実績を基準＝100%とする）

項 目		平成21年度 実績	平成24年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
二酸化炭素排出量		56,237.4	47,801.8	57,922.4	×
kg-CO ₂ %		100.0	85.0	103.0	
ガソリン	消費量 L	5,455.6	4,637.3	5,172.3	×
	%	100.0	85.0	94.8	
	排出量	12,666.0	10,766.1	12,008.3	
	%	100.0	85.0	94.8	
軽油	消費量 L	16,587.6	14,099.5	17,412.3	×
	%	100.0	85.0	105.0	
	排出量	43,531.6	37,001.9	45,695.8	
	%	100.0	85.0	105.0	

	評価	【コメント】
二酸化炭素排出量	×	県外での仕事が増えてきているためと思われる また、休日作業も増え、渋滞等の影響もあると思われる。
ガソリン	×	営業活動の走行距離を減少するのは困難なため、エコ運転の徹底と、燃費の良い車輛への交換等を考える。
軽油	×	検査車のため、仕事が増えると走行距離も増えてしまう。エコ運転の徹底と、燃費の良い車輛への交換等を考える。

② 廃棄物排出量（目標設定は平成21年実績を基準＝100%とする）

項 目		平成21年度 実績	平成24年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
単純焼却 廃棄物	t	2.06	1.75	0.51	○
	%	100.0	85.0	24.8	
最終処分 廃棄物	t	0.52	0.44	0.22	○
	%	100.0	85.0	42.3	

	評価	【コメント】
単純焼却 廃棄物	○	分別等、廃棄物に対する意識が向上している。 今後も努力を継続する
最終処分 廃棄物	○	意識の向上と、景気の悪さによる工事物件の減少が影響していると考えられる。 今後も努力を継続する

【短期環境目標と実績・評価】

平成24年度

事務所

① 二酸化炭素排出量（目標設定は平成21年実績を基準＝100%とする）

項 目		平成21年度 実績	平成24年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
二酸化炭素排出量		54,551.0	46,368.4	47,544.4	×
kg-CO ₂ %		100.0	85.0	87.2	
購入電力	消費量 kWh	1,769.0	1,503.7	1,198.0	×
	%	100.0	85.0	67.7	
	排出量	668.7	568.4	620.6	
0.378(kg-CO ₂ /kWh)		100.0	85.0	92.8	
液化石油ガス LPG車両用	消費量 kg	2,021.8	1,718.5	2,001.7	×
	%	100.0	85.0	99.0	
	排出量	6,069.3	5,158.9	6,009.1	
		100.0	85.0	99.0	

	評価	【コメント】
二酸化炭素排出量	×	
購入電力	×	排出係数 21年 0.371 23年 0.341 24年 0.518 24年 8月 事務所1階の蛍光灯を LED化したが、係数の上昇と、今年4月より 工事部8人分の机を2階に移動したため、残業時の照明・冷暖房費等が増加したものとする。
液化石油ガス LPG車両用	×	営業活動の走行距離を減少するのは困難なため、エコ運転の徹底と、燃費の良い車両への交換等を考える。

② 廃棄物排出量（目標設定は平成21年実績を基準＝100%とする）

項 目		平成21年度 実績	平成24年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
単純焼却 廃棄物	t	1.00	0.85	0.76	○
	%	100.0	85.0	76.0	

	評価	【コメント】
単純焼却 廃棄物	○	分別に努めた結果

③ 総水使用量（目標設定は平成21年実績を基準＝100%とする）

項 目		平成21年度 実績	平成24年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
上水使用量	m ³	329.8	280.3	174.7	○
	%	100.0	85.0	53.0	

	評価	【コメント】
上水使用量	○	平成21年10月に 事務所・休憩室のトイレを節水型に交換したことにより、大幅な節水ができました。

【 環境活動の取組計画 】

平成 24 年度

(2012/7-2013/6)

容器検査部

取 組 項 目			取 組 計 画												
①	電気使用量の削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	* 照明灯管理	工場	鈴木						大掃除			明り取り天窓の検討			
			松永						大掃除			照明器具の配置検討			
	* 圧縮機の運転	工場	松永・鈴木	担当者 打ち合わせ			点検	大掃除						点検	
	* 搬送コンベアー			担当者 打ち合わせ			点検	大掃除					点検		
	* ショットブラスト			担当者 打ち合わせ			点検	大掃除					点検		
	* 真空ポンプ			担当者 打ち合わせ			点検	大掃除					点検		
	化石エネルギーの削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	* 運転計画の合理化	配送	増田	車輛別集計		安全運転コンクール					安全運転コンクール				
	* エコ運転の実施	配送	増田	車輛別集計		安全運転コンクール					安全運転コンクール				
・過積載禁止	通勤時	増田	通勤経路 確認		安全運転コンクール					安全運転コンクール					
* 車輛整備		増田													
②	廃棄物の抑制		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	* 排出量の削減	工場	松永	分別ポスター掲示											
	* 生産資材の節約	工場	松永					在庫確認						在庫確認	
	リサイクルの推進		松永	分別ポスター掲示											
	廃棄物処理の確認		松永	分別ポスター掲示											
	③ 総排水量の削減	工場	鈴木	漏水点検			チェックシール掲示		集計						
④ 化学物質の適正管理	工場	松永					在庫確認							在庫確認	
⑤ グリーン購入品目の活用		佐野	検討												

工事部（社外作業）

取 組 項 目			取 組 計 画													
①	電気使用量の削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
	* 照明 電動機・電動工具	工事部	芳賀													
			小林													
	化石エネルギーの削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
	* 運転計画の合理化	工事部	近藤	車輦別集計		安全運転コンクール					安全運転コンクール					
	* エコ運転の実施 ・アイドリング抑制	工事部	芳賀	車輦別集計		安全運転コンクール					安全運転コンクール					
			小林	車輦別集計		安全運転コンクール					安全運転コンクール					
	* 車輛整備	工事部	芳賀													
	②	廃棄物の抑制		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
		* 排出量の削減	工事部	芳賀	分別ポスター掲示											
小林				分別ポスター掲示												
* 生産資材の節約		工事部	近藤				合同購入の検討		在庫確認					在庫確認		
リサイクルの推進			芳賀	分別ポスター掲示												
廃棄物処理の確認			近藤	分別ポスター掲示												
③	総排水量の削減	工事部														
④	化学物質の適正管理	工事部	近藤						在庫確認					在庫確認		
⑤	グリーン購入品目の活用		山本	検討												

事務所

取 組 項 目			取 組 計 画												
①	電気使用量の削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	* 空調 温度設定	事務所	山本	LED 交換工事					室温 20度に設定・管理						
	* 照明 (テレビ)	休憩室	鈴木	室温28度に設定・管理					室温 20度に設定・管理						
		喫煙室	増田	室温28度に設定・管理					室温 20度に設定・管理						
②	化石エネルギーの削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	* エコ運転の実施	事務	石田	車輦別集計			安全運転コンクール					安全運転コンクール			
	* アイドリング抑制	通勤時	村越	通勤経路 確認			安全運転コンクール					安全運転コンクール			
③	廃棄物の抑制		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	* 排出量の削減	事務所	山本	分別ポスター掲示											
	* 生産資材の節約	事務所	山本	エコ文具 検討					在庫確認					在庫確認	
	リサイクルの推進		山賀	分別ポスター掲示											
	廃棄物処理の確認		石田	分別ポスター掲示											
④	総排水量の削減		佐野	漏水点検			チェックシール掲示								
⑤	化学物質の適正管理														
⑥	グリーン購入品目の活用		山本		エコ文具 検討										

【具体的な環境活動】

平成24年度 容器検査部

① 「二酸化炭素排出の削減」

責任者

電気の使用量を削減する

- ＊ 不要電力をカットする 工場・倉庫

照明・換気扇・電動機・電道工具・外灯の全電源を対象とする。 松永公一、鈴木千秋

- ＊ 省エネルギー化に努力する。

省エネ機器の購入・自家発電・クールビズ・ウォームビズ
を奨励

松永公一

夏場の遮光カーテン・グリーンカーテンの利用

燃料の使用量を削減する。

- ＊ エコドライブの周知徹底と実行する。
- ＊ 車両の効率的運行及び車両整備を実施する。
- ＊ 消費燃料の状況を把握する。

増田佳和

増田佳和

石田文子

② 「廃棄物排出量の削減及びリサイクルの推進」

廃材の分別、リサイクル、リユース、リデュース

- ＊ 残資材、缶、瓶、紙の分別の徹底
- ＊ マニフェストを管理する。

松永公一、鈴木千秋

佐野 和子

③ 「水の使用量削減」

- ＊ 節水 （検査用水・洗車用水）に努める。
- ＊ 水漏れ点検の実施
- ＊ 雨水の利用・検査用水のリサイクルの実施

鈴木千秋

鈴木千秋

鈴木千秋

④ 「化学物質の適正管理」 （塗料・シンナー）

松永公一

- ＊ 少量であっても保管時・使用時共に法的取扱に基づく

⑤ 「グリーン購入法該当商品の優先的活用」

佐野 和子

【具体的な環境活動】

平成24年度
工事部（社外作業）

① 「二酸化炭素排出の削減」

責任者

電気の使用量を削減する。

＊ 不要電力をカットする（倉庫・工事現場）

照明・電動機・電道工具等の使用時に節電に努力する。 芳賀一博、小林徳充

燃料の使用量削減

＊ エコドライブの周知徹底と実行

近藤正明

＊ 車両の効率的運行及び車両整備を実行する。

芳賀一博

＊ 消費燃料の状況を把握する。

石田文子

② 「廃棄物排出量の削減及びリサイクルの推進」

廃材の分別、リサイクル、リユース、リデュース

＊ 残資材、缶、瓶、紙の分別を徹底して行う。

芳賀一博、小林徳充

＊ マニフェストを管理する。

近藤政明

③ 「水の使用量削減」

＊ 洗車用水・検査用水等の 節水に努力する。

芳賀一博、小林徳充

④ 「化学物質の適正管理」 （塗料・シンナー）

近藤政明

＊ 少量であっても保管時・使用時共に法的取扱に基づく

⑤ 「グリーン購入法該当商品の優先的活用」

山本 有美子

【具体的な環境活動】

平成24年度 事務所

責任者

「二酸化炭素排出の削減」

① 電気の使用量を削減する

- ＊ 不要電力をカット(事務所 休憩室)

照明・換気扇・テレビ等電源管理を 徹底する。
空調機フィルター清掃を実行する。

山本有美子、山賀恵美子
村越睦明

- ＊ 省エネルギー

冷暖房の室温管理（冬20℃、夏28℃）指定温度を守る。

山本有美子、山賀恵美子

燃料の使用量削減

- ＊ エコドライブの周知徹底と実行
- ＊ L P G車の優先的導入を計る。
- ＊ 消費燃料の状況を把握する。

石田文子

新井二郎

石田文子

② 「廃棄物排出量の削減及びリサイクルの推進」

廃材の分別、リサイクル、リユース、リデュース

- ＊ 残資材、缶、瓶、紙の分別を徹底して行う。
- ＊ コピー用紙の両面使用を実行する。

山本有美子、山賀恵美子

山本有美子、山賀恵美子

③ 「水の使用量削減」

- ＊ 節水 （事務所、休憩室、花壇散水）
- ＊ 水漏れ点検の実施
- ＊ 雨水の利用を検討する。

佐野和子、山本有美子

村越睦明

村越睦明

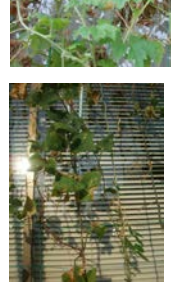
⑤ 「グリーン購入法該当商品の優先的活用」

- ＊ 事務所での必要資材調達時に活用する。

山本有美子、山賀恵美子



- ＊ 事務所 照明を LEDに交換



グリーンカーテン
今年はゴーヤ、
いんげん・きゅうり

【環境活動の取組結果の評価】

平成 24 年度

評価 担当者	村越 睦明
評価 年月日	平成 25 年 10 月 15 日

総 合

平成24年7月～平成25年6月

取 組 項 目	評 価		
	達成状況	問題点	是正・予防処置
1. 電気使用量の削減	○	照明の交換も考えられる。	今後は、工場の屋根の採光化を進める。
2. 化石エネルギーの削減	×	行先・日数等により車輛燃費の違いが見える。	燃費を対象とする等、原単位の求め方を再考する必要がある。また、車輛入替時には省エネ対応車両を積極的に導入する。
3. 廃棄物の抑制	○		周知と実行を継続する。廃棄物の中に、リサイクルできるものがないか、常に考えるよう習慣づける。
4. 化学物質の適正管理	○	エチルベンゼンの環境測定	作業環境に適した環境測定を進める。
5. グリーン購入品目の活用	○		グリーン購入品目の開拓と、積極的な活用を実行する。
6. リサイクルの推進	○	分別収集箱の管理	周知と実行を継続する。廃棄物の中に、リサイクルできるものがないか、常に考えるよう習慣づける。
7. 廃棄物処理の確認	○		周知と実行を継続する。管理を怠らないこと。
8. 総排水量の削減	○	使用量管理のため、メーター点検を実施し、異状のないように管理する必要がある。	メーター管理等、さらに一層の改善計画を立てる。

総 評

少しずつですが、意識の向上が結果に反映されてきています。

今後も、法規制の遵守と共に、『環境・社会』に於いて企業の責任を意識した運営をしていきます。

【環境活動の取組結果の評価】

平成 24 年度

評価 担当者	近藤 政明
評価 年月日	平成 25 年 10 月 15 日

容器検査部

平成24年7月～平成25年6月

取 組 項 目	評 価		
	達成状況	問題点	是正・予防処置
1. 電気使用量の削減	○		今後は工場照明の LED化 照明の位置等を 検討する
2. 化石エネルギーの削減	×	検査容器内の残ガスの燃焼(廃 棄処理)によるものが必ず生じる ため、検査本数が増えると残ガ ス燃焼量も増えてしまう。	客先への残ガス量の削減の依 頼、配送車等のエコ運転の徹底 等検討する。1台ごとの燃費確 認
3. 廃棄物の抑制	△		今後も分別に努め、削減に努め る。
4. 化学物質の適正管理	○	エチルベンゼンの対策を考える	管理状況を常に確認する。
5. グリーン購入品目の活 用	○		グリーンマークの確認
6. リサイクルの推進	○		今後も分別に努める。
7. 廃棄物処理の確認	○		排出業者との打合せを密にす る。
8. 総排水量の削減	○		23年度 設備更新

総 評

今年も、配送トラックによる軽油の削減のために、夏場の配送車を3台から2台に減らし、配送ルートの合理化を図りました。一層の配送の合理化、エコ運転の教育等を検討します。

【環境活動の取組結果の評価】

平成 24 年度

評価 担当者	近藤 政明
評価 年月日	平成 25 年 10 月 15 日

工事部(社外作業)

平成24年7月～平成25年6月

取 組 項 目	評 価		
	達成状況	問題点	是正・予防処置
1. 電気使用量の削減	—	社外作業のため 集計なし	常に節電に努める
2. 化石エネルギーの削減	×	業務上不可欠。	アイドリングストップ、無駄な積載物の削減に及び、燃費の良い天然ガス車の購入等を検討する。
3. 廃棄物の抑制	○		分別をより徹底する。資材もリサイクル処理できるものを選ぶように工夫する。
4. 化学物質の適正管理	○		管理状況を常に確認する。
5. グリーン購入品目の活用	○		グリーンマークの確認
6. リサイクルの推進	○		朝礼等での意識向上を図る
7. 廃棄物処理の確認	○		排出業者との打合せを密にする。
8. 総排水量の削減	—	社外作業のため 集計なし	常に節水に努める

総 評

今後も、ガソリン・軽油の削減を重点にし エコ運転の取り組みを強化する。社外においても常に環境意識を持ち、省エネルギー・省資源・廃棄物の適正処理等に努めるよう、指導します。

産廃置き場の表示等を改善し、分かりやすくしたのも、廃棄物の減少につながったものと思います。

【環境活動の取組結果の評価】

平成 24 年度

評価 担当者	石田 文子
評価 年月日	平成 25 年 10 月 15 日

事務所

平成24年7月～平成25年6月

取 組 項 目	評 価		
	達成状況	問題点	是正・予防処置
1. 電気使用量の削減	○	冷暖房の効率的な利用	事務所1階の照明のLED化を24年8月に実施。
2. 化石エネルギーの削減	×		LPG車の整備、エコ運転の実施。通勤車両のエコ運転意識の向上のための啓蒙活動。
3. 廃棄物の抑制	○		分別の徹底に努める。
4. 化学物質の適正管理		なし	
5. グリーン購入品目の活用	○		グリーンマークの確認、事務用電化製品(パソコン・プリンター・シュレッダー等)
6. リサイクルの推進	○		朝礼等での意識向上を図る
7. 廃棄物処理の確認	○		排出業者との打合せをする。マニフェストの管理。
8. 総排水量の削減	○		台所の水道蛇口を、交換する。溜め置き雨水の花壇への散水。

総 評

一応の目標は達成できました。さらに一層の節電・リサイクルの推進等に取り組みます。

【 環境活動の取組計画 】

平成 25 年度

(2013/7-2014/6)

容器検査部

取 組 項 目		取 組 計 画												
電気使用量の削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
①	* 照明灯管理	工場	鈴木					大掃除			明り取り天窓の検討			
			松永					大掃除			照明器具の配置:LED検討			
	* 圧縮機の運転	工場	松永・鈴木	毎日 点検開始			点検	大掃除						点検
	* 搬送コンベアー						点検	大掃除						点検
	* ショットブラスト						点検	大掃除						点検
	* 真空ポンプ						点検	大掃除						点検
化石エネルギーの削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	* 運転計画の合理化	配送	増田	車輦別集計		安全運転コンクール						安全運転コンクール		
	* エコ運転の実施	配送	増田	車輦別集計		安全運転コンクール						安全運転コンクール		
	・過積載禁止	通勤時	増田	通勤経路 確認		安全運転コンクール						安全運転コンクール		
	* 車輦整備		増田											
廃棄物の抑制		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
②	* 排出量の削減	工場	松永	分別ポスター掲示										
	* 生産資材の節約	工場	松永					在庫確認						在庫確認
	リサイクルの推進		松永	分別ポスター掲示										
	廃棄物処理の確認		松永	分別ポスター掲示										
③	総排水量の削減	工場	鈴木	漏水点検		チェックシール掲示		集計						
④	化学物質の適正管理	工場	松永					在庫確認						在庫確認
⑤	グリーン購入品目の活用		佐野	検討										

工事部（社外作業）

取 組 項 目		取 組 計 画												
電気使用量の削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
①	* 照明	工事部	芳賀											
	電動機・電動工具		小林											
	化石エネルギーの削減	担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	* 運転計画の合理化	工事部	近藤	車輦別集計		安全運転コンクール						安全運転コンクール		
	* エコ運転の実施	工事部	芳賀	車輦別集計		安全運転コンクール						安全運転コンクール		
②	・アイドリング抑制	工事部	小林	車輦別集計		安全運転コンクール						安全運転コンクール		
	* 車輦整備	工事部	芳賀											
	廃棄物の抑制	担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	* 排出量の削減	工事部	芳賀	分別ポスター掲示										
			小林	分別ポスター掲示										
③	* 生産資材の節約	工事部	近藤			合同購入の検討	在庫確認							在庫確認
	リサイクルの推進		芳賀	分別ポスター掲示										
	廃棄物処理の確認		近藤	分別ポスター掲示										
④	総排水量の削減	工事部												
⑤	化学物質の適正管理	工事部	近藤					在庫確認						在庫確認
⑥	グリーン購入品目の活用		山本	検討										

事務所

取 組 項 目		取 組 計 画												
電気使用量の削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
①	* 空調 温度設定	事務所	山本	室温28度に設定・管理				室温 20度に設定・管理						
	* 照明 (テレビ)	休憩室	鈴木	室温28度に設定・管理				室温 20度に設定・管理						
		喫煙室	増田	室温28度に設定・管理				室温 20度に設定・管理						
	化石エネルギーの削減	担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	* エコ運転の実施	事務	石田	車輦別集計		安全運転コンクール						安全運転コンクール		
②	・アイドリング抑制	通勤時	村越	通勤経路 確認		安全運転コンクール						安全運転コンクール		
	廃棄物の抑制	担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	* 排出量の削減	事務所	山本	分別ポスター掲示										
	* 生産資材の節約	事務所	山本	エコ文具 検討				在庫確認						在庫確認
	リサイクルの推進		山賀	分別ポスター掲示										
③	廃棄物処理の確認		石田	分別ポスター掲示										
④	総排水量の削減		佐野	漏水点検		チェックシール掲示								
⑤	化学物質の適正管理													
⑥	グリーン購入品目の活用		山本	エコ文具 検討										

【中・長期環境目標】

総 合

(容器検査部・工事部・事務所)

平成25年度～平成27年度 (2013/7-2016/6)

① 二酸化炭素排出量 (目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準＝100%とする)

項 目		平成21～24年度 実績	平成25年度 目標	平成26年度 目標	平成27年度 目標
二酸化炭素排出量		530,858.2	528,561.4	500,742.4	472,923.3
kg-CO ₂ %		100.0	98.0	96.0	94.0
購入電力 0.518(kg-CO ₂ /kWh)	消費量 kWh	150,124.3	147,121.8	144,119.3	141,116.8
	%	100.0	98.0	96.0	94.0
	排出量	52,933.9	51,875.2	50,816.5	49,757.9
		%	98.0	96.0	94.0
残ガス燃焼	燃焼量 kg	75,450.0	73,941.0	72,432.0	70,923.0
	%	100.0	98.0	96.0	94.0
	排出量	226,497.8	221,967.8	217,437.9	212,907.9
		%	98.0	96.0	94.0

軽油	容器検査部	1号車・2号車・3号車	車輛ごとの燃費削減を 目標とします
	工事部	キャラバン(検査車)4台	4台合計の燃費削減を 目標とします
ガソリン	工事部	ADバン・1107	2台合計の燃費削減を 目標とします
	事務所	スイフト	燃費削減を 目標とします
液化石油ガス LPG車両用	工事部	LPG車2台	2台合計の燃費削減を 目標とします

② 廃棄物排出量 (目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準＝100%とする)

項 目		平成21～24年度 実績	平成25年度 目標	平成26年度 目標	平成27年度 目標
単純焼却 廃棄物	t	10.0	2.54	2.42	2.35
	%	100.0	25.4	24.3	23.6
最終処分 廃棄物	t	23.1	13.98	12.83	11.69
	%	100.0	60.4	55.5	50.5

③ 総水使用量 (目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準＝100%とする)

項 目		平成21～24年度 実績	平成25年度 目標	平成26年度 目標	平成27年度 目標
上水使用量	m ³	420.4	412.0	403.6	395.2
	%	100.0	98.0	96.0	94.0
地下水使用量	m ³	9,067.1	5,440.3	4,986.9	4,533.6
	%	100.0	60.0	55.0	50.0

* 化学物質・・・数値目標は設けず、常に適正に管理することとする。

* グリーン購入法・・・数値目標は設けず、常にグリーン商品の購入に心がけることとする。

【中・長期環境目標】

容器検査部

平成25年度～平成27年度（2013/7-2016/6）

① 二酸化炭素排出量（目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準＝100%とする）

項 目		平成21～24年度 実績	平成25年度 目標	平成26年度 目標	平成27年度 目標
二酸化炭素排出量 kg-CO ₂ %		420,498.8 100.0	412,088.8 98.0	403,678.8 96.0	395,268.9 94.0
購入電力 0.518(kg-CO ₂ /kWh)	消費量 kWh %	148,651.5 100.0	145,678.5 98.0	142,705.4 96.0	139,732.4 94.0
	排出量 %	52,415.3 100.0	51,367.0 98.0	50,318.7 96.0	49,270.4 94.0
残ガス燃焼	燃焼量 kg %	75,450.0 100.0	73,941.0 98.0	72,432.0 96.0	70,923.0 94.0
	排出量 %	226,497.8 100.0	221,967.8 98.0	217,437.9 96.0	212,907.9 94.0

* 残ガスの単純燃焼を減らすよう、対策をかんがえる。

項 目		平成24年度 実績 km/ℓ	平成25年度 目標 km/ℓ	平成26年度 目標 km/ℓ	平成27年度 目標 km/ℓ
軽油	1号車	5.05 100.0	5.15 98.0	5.25 96.0	5.35 94.0
	2号車	6.26 100.0	6.39 98.0	6.51 96.0	6.64 94.0
	3号車	6.07 100.0	6.19 98.0	6.31 96.0	6.43 94.0

② 廃棄物排出量（目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準＝100%とする）

項 目		平成21～24年度 実績	平成25年度 目標	平成26年度 目標	平成27年度 目標
単純焼却 廃棄物	t	8.20	0.82	0.74	0.66
	%	100.0	10.0	9.0	8.0
最終処分 廃棄物	t	22.85	13.71	12.57	11.43
	%	100.0	60.0	55.0	50.0

* 単純焼却の廃棄物は、塗料カス（産廃）

③ 総水使用量（目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準＝100%とする）

項 目		平成21～24年度 実績	平成25年度 目標	平成26年度 目標	平成27年度 目標
上水使用量	m ³	193.1	189.2	185.4	181.5
	%	100.0	98.0	96.0	94.0
地下水使用量	m ³	9,067.1	5,440.3	4,986.9	4,533.6
	%	100.0	60.0	55.0	50.0

* 化学物質・・・数値目標は設けず、常に適正に管理することとする。

* グリーン購入法・・・数値目標は設けず、常にグリーン商品の購入に心がけることとする。

【中・長期環境目標】

工事部(社外作業)

平成25年度～平成27年度 (2013/7-2016/6)

① 二酸化炭素排出量 (目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準＝100%とする)

項 目	平成21～24年度 実績	平成25年度 目標	平成26年度 目標	平成27年度 目標
二酸化炭素排出量	56,166.8	55,043.5	53,920.1	52,796.8
kg-CO ₂ %	100.0	98.0	96.0	94.0

項 目	平成24年度 実績 km/ℓ	平成25年度 目標 km/ℓ	平成26年度 目標 km/ℓ	平成27年度 目標 km/ℓ
軽油	8.39	8.56	8.73	8.89
キャラバン4台	100.0	98.0	96.0	94.0
ガソリン	11.93	12.17	12.41	12.65
ADバン・1107	100.0	98.0	96.0	94.0
液化石油ガス LPG車両用	8.18	8.34	8.51	8.67
2台	100.0	98.0	96.0	94.0

② 廃棄物排出量 (目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準＝100%とする)

項 目	平成21～24年度 実績	平成25年度 目標	平成26年度 目標	平成27年度 目標
単純焼却	0.90	0.88	0.86	0.85
廃棄物	100.0	98.0	96.0	94.0
最終処分	0.28	0.27	0.27	0.26
廃棄物	100.0	98.0	96.0	94.0

- * 総水使用量…数値目標は設けず、常に適正に管理することとする。
- * 化学物質…数値目標は設けず、常に適正に管理することとする。
- * グリーン購入法…数値目標は設けず、常にグリーン商品の購入に心がけることとする。

【中・長期環境目標】

事務所

平成25年度～平成27年度（2013/7-2016/6）

① 二酸化炭素排出量（目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準＝100%とする）

項 目		平成21～24年度 実績	平成25年度 目標	平成26年度 目標	平成27年度 目標
二酸化炭素排出量		54,192.6	53,108.7	52,024.9	50,941.0
kg-CO ₂ %		100.0	98.0	96.0	94.0
購入電力 0.518(kg-CO ₂ /kWh)	消費量 kWh	1,472.8	1,443.3	1,413.9	1,384.4
	%	100.0	98.0	96.0	94.0
	排出量	518.6	508.2	497.9	487.5
%		100.0	98.0	96.0	94.0

項 目		平成24年度 実績 km/ℓ	平成25年度 目標 km/ℓ	平成26年度 目標 km/ℓ	平成27年度 目標 km/ℓ
ガソリン	スィフト	15.02	15.32	15.62	15.92
		100.0	98.0	96.0	94.0

② 廃棄物排出量（目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準＝100%とする）

項 目		平成21～24年度 実績	平成25年度 目標	平成26年度 目標	平成27年度 目標
単純焼却	t	0.87	0.85	0.84	0.85
廃棄物	%	100.0	98.0	96.0	94.0

③ 総水使用量（目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準＝100%とする）

項 目		平成21～24年度 実績	平成25年度 目標	平成26年度 目標	平成27年度 目標
上水使用量	m ³	227.3	222.8	218.2	213.7
	%	100.0	98.0	96.0	94.0

* グリーン購入法…数値目標は設けず、常にグリーン商品の購入に心がけることとする。

【環境関連法規に係る遵守及び違反、訴訟等の状況】

当社に適用される環境関連法規への対応、遵守の状況は、次のとおりです。

法 規 名	適 用 対 象	取得年月日	対 応 事 項	法規及び遵守の確認
高圧ガス保安法	残ガス回収	S56. 1.16	保安検査	平成24年10月18日
高圧ガス保安法	容器検査所	H23. 9.22	登録申請	平成23年9月30日
高圧ガス保安法	指定保安検査機関	H23. 1.13	再認定申請	平成23年2月1日
消防法	塗料庫	S57.10.28	確認検査	平成23年2月18日
労働安全衛生法	マーキング	H 8.11.14	エチルベンゼン環境測定	平成25年8月1日
労働安全衛生法	従業員	S45. 7.23	健康診断	平成25年6月28日
労働安全衛生法	ショットブラスト	H21. 8.12	定期自主検査	平成24年9月27日
水質汚濁防止法	耐圧設備	H20. 2.22	水質検査業者委託	平成25年2月28日
浄化槽法	事務所、休憩室	S62. 4.13	保守点検業者委託	平成25年3月7日
グリーン購入法	事務所	H13. 4. 1	コピー機更新購入	平成23年3月30日
廃棄物処理法	工事	H20. 8.22	業者委託契約	平成25年6月27日
廃棄物処理法	ショットブラスト	H17. 2.17	業者委託契約	平成25年5月16日
PRTR法	工場	H14.7.2	排出量及び移動量の確認	平成25年8月30日
廃棄物処理法	事務所	H20. 8.22	業者委託契約	平成25年7月25日
騒音規制法	工場	S59. 7. 6	定期自主検査	平成25年8月30日
振動規制法	工場	S59. 7. 6	定期自主検査	平成25年2月23日
悪臭防止法	工場	S59. 7. 6	環境測定業者委託	平成25年3月5日
静岡県地下水の採取に関する条例	工場	S56. 5.26	地下水採取報告書	平成25年1月7日
建設業法	工事	H22.10. 6	更新許可申請	平成22年11月15日
自動車リサイクル法	社有車	H17. 1.	リサイクル料金	平成23年3月3日
計量法	工事	H21. 6. 4	確認検査	平成22年9月8日
高圧ガス保安協会認定	プラント、ローリ	H23.11. 4	再認定申請	平成24年1月5日
環境関連法規の確認 当社の事業に係る、関連法規等における義務、責任の中で苦情、違反及び訴訟等は、3年間なかったことを報告します。 平成25年8月30日 確認 確認者 環境担当事務局 村越睦明				

【 代表者による評価と見直し 】

評価

昨年の中間審査を終え、まだまだ取り組みに対して生ぬるいのかとも感じるが、各社員は確実にエコアクション21への意識は浸透してきております。

工場の操業時間の短縮と配送業務を見直して車輛運行の軽減等おこないました。前期の決算では売上が 前年度より18%の増収であったものの、業界の底冷え景気を反映して予算の軽減要求が厳しく、利益の計上が出来ませんでした。

そんな1年ではありましたが、社内の整理整頓を几帳面に行い、グリーンカーテンと美化運動は目を見張る成果が上がっています。

見直し

配送業務の合理化は多少ですが出来つつありますので、今後は さらに一層の工場の業務の効率向上に取り組めます。

また、使用する材料に特定化学物質が含まれる場合は排出削減を工夫し、特定化学物質のより少ない、または含まない材料への転換を目指します。

併せて光熱費、消耗品の更なる削減を指示し徹底を行います。

なお、中弛み防止のために、日ごろからの呼びかけは続け、職場において自分は何をしたら環境管理の向上に寄与するかの 自覚を持たせます。

平成 25 年 10 月 15 日

不二高压株式会社

代表取締役社長

新井 二郎